



# LGBT と 慈悲

20年以上前のことです。私が教育実習生として担任したクラスに、身体は女性だけど性自認（自分が男性なのか女性なのか。そのどちらでもないのかの認識）が男性という生徒がいて、どう対応して良いのかわからずにオロオロしてしまった経験があります。

昨今、性的マイノリティを表す LGBT という言葉がだいぶ浸透してきましたが、先日私たちの宗派でもそのテーマの勉強会があり、講師の東小雪先生に様々なことを教えていただきました。性は男性女性だけでなくグラデーションであり、また変化するものであること。その多様な性の存在というものが科学的にも明らかになってきていること。人口の8.9%が該当すること。残念ながらまだまだ多くの偏見や差別が残っていること…。仏教界全体でもこの問題に関心を持ち取り組むことが大切だと感じました。

仏教教団は、身分制度のとても厳しかった時代のインドに「私たちは生まれながらにして皆平等である」という理念のもと誕生しました。その理念を支えるのは**多様性の尊重と自他一如の感覚**。

**LGBT=多様な性の在り方を各頭文字をとって表現した言葉**

L…レズビアン（女性同性愛者）

G…ゲイ（男性同性愛者）

B…バイセクシャル（両性愛者）

T…トランスジェンダー

（出生時の性別と異なる性別を選択する人）

そして、そこから発生する生きとし生けるものへの「慈悲」です。

その慈悲を起こすために、まずは私たちが実に多様な存在だと「知る」事が大切です。かつての私にその認識があれば教育実習で出会ったあの生徒にも、もう少し落ち着いて向き合えたのかなあと考えています。

# 檀信徒のおつとめを読む②



## 2. 懺悔文（さんげもん p3）

『檀信徒のおつとめ』を読む第1回は心構えと準備についてお伝えしました。今回取り上げるのは、最初にお唱えするお経「懺悔文（さんげもん）」(p3)です。キリスト教の教会で罪の告白＝懺悔を行うことはよく知られていますね。仏教でもまずは自らの間違いや失敗を認めることから始まります。

その間違いや失敗は「貪瞋痴(とんじんち)」と呼ばれる煩惱の代表選手、すなわち「貪欲」=むさぼり。「瞋恚(しんい)」=怒り。「愚痴」=愚かさ。からやってきて、身(身体活動)語(言葉)意(心)を通して現れると考えられています。

なお、愚痴はサンスクリット語でモーハといい、これが「バカ」の語源になったとか。経典には漢文と書き下し文が載っていますのでどちらを唱えていただいても構いません。

懺悔文  
我昔所造諸悪業 皆由無始貪瞋痴  
従身語意之所生 一切我今皆懺悔  
我れ昔より造りし所の諸々の悪業は、皆無始の貪瞋痴に由り、身語意より生ずる所なり。一切我れ今、皆、懺悔し奉る。

## 法話カフェのご案内



参加者の対話によって進む法話会「法話カフェ」。2回が無事終了しそれぞれ10名ほどの方が集まりました。第1回のテーマは「善い習慣とは?」。第2回のテーマは東ヨーロッパで戦争が勃発してしまったことを受けて「人はなぜ争うのか」。次回のテーマは「私たちが仲良く暮らすには」とします。また、今後の予定は別枠の通りです。どうぞお気軽にお運びください。

### 法話カフェ今後の予定

3月27日(日) 4月24日(日)

5月29日(日) 6月26日(日)

7月30日(土)

いずれも13時30分から

# 老僧のつぶやき ⑬

世界のあちこちで偉人、賢人には生誕〇年、没後〇年が祝われたり、記念の行事が催されたりしています。我が宗祖、弘法大師様も令和5年6月15日はご生誕1250年目を迎えることになり、宗派では多方面の記念企画が練られています。前回のご生誕1200年は昭和48年、当然宗派ではいろいろな行事や法要が営まれました。

実はこの年、小僧(しょうそう)にとっても徒歩で四国88カ所を巡ったという、感慨深い年でした。経験者の話を伺い、本を読み用具を備え5月1日、東京駅発の普通夜行列車がスタートでした。黒い衣に編み笠、錫杖を携え僧形の出で立ち、それと当時は盛んに山に登っていましたのでリュックにはテント、炊飯用具、簡易寝具などを用意、四国4県、約1400キロ50日間を歩き続けたこととなります。道中3回だけ車に乗りました。娘の病気快癒を願うお父さんの懇願。テント場がなく探していた夜、バスが拾ってくれました。そして熱でつらい徒歩中に車からの天の声？お寺の宿坊に駆け込んで爆睡、目が覚めたら白衣やジューバンが洗濯されていました。来年は50年、月日がたっても記憶は鮮やかに脳裏に刻み込まれています。

生誕1250年について今回の「光明」222号、表紙見開きには記念事業の一端が掲載されていて、本山「長谷寺」が趣向をこらしてご参拝をお待ちすることになっています。寶泉寺でも参拝旅行を計画したいところですが、コロナの早い終息を願うばかりです。

ところで生誕記念から11年後の令和15年には、弘法大師没後1200年の「御遠忌(ごおんき)」が営まれるはず、明治39年生まれ(1876年)の師僧である父は2回の機会に恵まれたことを常々喜んでいました。前回の御遠忌は昭和59年、小僧、寶泉寺晋山7年後のことで記念事業が営まれたことをご記憶の方も多いことでしょう。今後の11年小僧にはどんな人生を歩むのだろうか、2回目の御遠忌を体験したいと切に望んでいます。

ことは3回目、雑木林の作業に

お手伝いいただけませんか！

3月29日(火)、午前9時からお昼まで。  
こちらで昼食を用意しておきます。

作業服、タオル、軍手など、あればノコギリ、ナタなどもお持ちください。お手伝い願える方はぜひお知らせください。 ☎04-2943-2467

# 護摩法要

日時：3月21日（月・祝）14時開始

会場：寶泉寺大師堂

悪いものを焼き払い、私たちの願いを仏さまに届けるために行うのが護摩法要です。皆さまの願いが書かれた護摩木をお焚き上げしますので、ご希望の方は大師堂にてご記入ください。法要の開始直前まで受けつけています。



## 花まつり

日時：4月8日～10日 10時～16時  
会場：寶泉寺本堂

お釈迦さまを彩る花御堂



4月8日はお釈迦さまのお誕生日で、花まつりと呼ばれます。今年も3日間にわたり本堂を開放し、期間中いつでも腕輪念珠が作れるよう準備しています。どなたでもお気軽にお参りください（念珠はお一人につき一つまでは無料です）。

## 編集後記

- ・山仕事、一人でモクモクだとつらい仕事だが、みんなでワイワイだとむしろ気持ちがいい。地面ではシュンラン、キンラン、リンドウなどが増えている。
- ・コロナ渦中、墓地内のゴミカゴに変化が出ている、皆さんの自制、自粛があるのかめっきり少なくなった。
- ・ツイッター情報、「コロナ禍にあって新型コロナの火葬で高額請求か、見積書を確認、病院付きの葬儀社に依頼しなければならないということはありません。」まさにその通り。
- ・大震災11年目、今年もマスメディアでは多くの報道があった。表向きの復興は進んでは

- いるが風化させず語り継ぐことが大事という。被災者のインタビューで多くの人々の共感がほしいというのが印象的だった。
- ・ウクライナ戦争が始まってしまった。一部の識者が言うようにまさかであった。3月はちょうど太平洋戦争の空襲が激しくなったとき、映像を見ながら、つい東京大空襲と重ねてみてしまう。攻撃にさらされる建物や人々、そして避難の混乱、疎開。心ちゅういかばかりかと。
- ・田中角栄元首相は「戦争を知る世代が政治の第一線にいる間は大丈夫。そうでなくなったときに心配」というようなことを言ったそうだが心したい。

Mar. 15. 2022 (琴)